

平成25年度 経営企画委員会と地域交通に係る地元関係者との 意見交換会報告

経営企画委員会では、「地域住民の生活を支える地域交通について」をテーマに、以下のとおり、地域で県民の皆さんの生の声をお聴きする意見交換会を開催しました。

1 開催日

平成25年9月6日（金）

2 場 所

富山県高岡総合庁舎（高岡市赤祖父211）

3 参加者

県議会側

経営企画委員長	五十嵐務
〃 副委員長	向栄一朗
〃 委員	酒井眞次
〃 委員	田尻 繁
〃 委員	神田真邦
〃 委員	海老克昌
地元議員	渡辺守人
〃	井村昭彦
〃	井加田まり

関係者

高岡・西高岡駅間新駅設置推進協議会 会長、副会長、理事
二塚校下連合自治会 会長
下関校下連合自治会 会長
J R越中中川駅利用促進協議会 会長
万葉線を愛する会 会長
2014新高岡協議委員会 委員長、アドバイザー
高岡市関係課長

計12名

4 テーマ

地域住民の生活を支える地域交通について

5 意見

(1) 新駅設置に伴い期待される効果について

高岡・西高岡間新駅設置推進協議会

- ・新しくできる駅が便利で、たくさんの方々に親しまれながら、駅周辺が賑わっていくことを望んでいる。
- ・駅ができることにより、線路で分断されている地区の交流が促進され、現在遠回りして危険なところを通っている通学路問題などの解決につながればと願っており、その観点から、駅舎については、橋上駅が望ましいのではないかと思う。できれば、駅の利用に弾みがつくよう県関係の施設が併設できないか検討していただきたい。
- ・加えて、西側においては、現在、幹線道路からの太い道路がなく、駅の利用者による車の流入により、交通問題が発生することも懸念されている。
- ・並行在来線開業後、少しでも早く駅を作っていただくことをお願いしたい。

高岡・西高岡間新駅設置推進協議会

- ・まず、駐車場の件で、通勤者が新駅の駐車場に車を止めて出勤するという利用の仕方をお願いしたい。高岡駅の補完という意味も込めて、すぐ近隣の新駅でそういった機能を高めていけば、地域を越えた利用者が出てくるのではないかと思う。
- ・また、コミュニティバスを運行していただければどうか。徒歩で新駅を利用できない方々にそういう利便性をもっていけばどうかと思う。
- ・最後に、他の事例を我々のほうに、いろんな意味で情報としてつないでいただければ、我々もいろんな対策を地元として取り組んでいきたいと思う。

高岡・西高岡間新駅設置推進協議会

- ・新駅の設置となると、西側の交通アクセス道路あたりを整備していただければ、かなり利便性が高まってくるだろうと思う。
- ・これから新駅がつくられると、当然駅舎もつくられると思うが、この駅舎をイメージチェンジして、ここを利用者や地域の人たちの情報交換の場、いわゆるコミュニケーションを図る場として部屋をつくっていただけないかなと思う。
- ・また、駅に行けば県や高岡市の情報がみんなわかるような、軽い図書館的なもの、また、地域の皆さんの交流の場として遊び道具なども少し置いていただき、どこにでもない駅舎、ユニークな施設をつくっていただければ、地域の皆さんが喜んで利用すると思う。そのことで利用者が増えていくことにもなる。
- ・駅の名前も、今まで地区の名前がほとんどだったが、愛称として、鳥とか花の名前を取り入れていくと、地域からも、利用者からも馴染みやすいと思う。

高岡・西高岡間新駅設置推進協議会

- ・この地に新駅ができれば、駅にも近く、インターにも近いというのは、富山県広しと言えどもそうないはずである。
- ・人が集まり、駅ができると、街が栄える。人が集まると、賑やかになり、活気が出る。また、活気が生まれると街が栄える。この繰り返しとなっていく。
- ・人が集まるようにするためにも、ここに新駅を設置してほしいと思う。
- ・そして、新駅を設置した暁には、さらに弾みがつくよう県関係の施設がほしいと願っている。

二塚校下連合自治会

- ・おいしい水、行列のできる湧水を汲み取るような状況を、ぜひとも新幹線駅の前にもつくってほしい。そうすれば、富山県のおいしい水が飲めるということで人が集まってくると思う。
- ・既存の城端線の駅は、だんだんと駅前が寂れてきている。例えば、駅前の公衆トイレをつくるとか、駐輪場、駐車場といったものを整備するとか、駅前広場、融雪装置など地元では要望がたくさんあるが、総合的な施設整備に取り組んでいただきたい。
- ・新幹線から城端線新駅を通じて高岡へ出る、氷見線へ出る、城端線に乗ることになるが、高岡駅での乗り換えの不便さを解消することが、非常に効果のある話だと思う。これにより、通勤、通学の利便性が倍増するので、ぜひともこういう施策を講じてほしい。

下関校下連合自治会

- ・北陸本線、城端線、新駅のなかに挟まった地区であるが、何をするにしても、北陸本線や城端線が邪魔をしており、新駅に来るいい道は1本しかない。
- ・私たちが新しく街をつくるためにも、県で広い道路をつくっていただき、駅前から駅南へ渡る道、そして新幹線へ来る道を確保していただきたい。
- ・それから、国宝瑞龍寺には最近観光バスがよく来るが、駐車場がないため、なかなか地区が発展しないと思っている。

経営企画委員

- ・並行在来線の新駅について、県が求めている高岡市におけるまちづくりのプランというものは、実際に高岡市はどう描いているのか。我々にとっても非常に興味のあるところであるが、まだそこまで煮詰まっていないということか。

高岡市

- ・並行在来線新駅の形状とか、そういうことをどうするのかについては、今度、あいの風とやま鉄道で基本設計が行われる。それと呼応して、当然、駅舎と一体的な駅周辺の施設は必要ということで、その土地利用については市で検討していくことになるが、それが今年度ということで、まだコンセプトなどは出来上がっていない。

地元議員

- ・今の関連で、我々は今日予定地を見てきたけれども、一体、あそこに駅をつかってどんなまちづくりを考えているのか、イメージがなかなか沸かない。
- ・知事も、高岡市の陳情の時に、もっと早く青写真を出してほしいとはっきり言っているのだから、早急にまちづくりを、今日は皆さん結構いいアイデアを出されるわけで、これを吸い上げて青写真を出すべきではないかと思う。

(2) 公共交通の維持活性化及び利便性向上に求められることについて

J R越中中川駅利用促進協議会

- ・今のところ駅舎はJ Rのものであり、駅舎が壊れているので直そうと思ってもJ Rからは触らないように言われる。
- ・また、駅舎の中で子供たちが休憩する場所も長いすだけで、お茶を飲もうと思ってもなかなかできない。
- ・今後、新幹線ができて在来線が第三セクターになると、私どもが今維持している運営費が出なくなるのではないか、あるいはまた、無人駅に完全にすることになりはしないか、心配している。

万葉線を愛する会

- ・私どもは、議員、県、市、我々経済界、そこにいる人たちが一体となることの必要性が、これほど重要で大事な時期はないと思っている。
- ・そういう意味では、それぞれが単独で動くのではなくして、やはりこれをコーディネートする人が必要である。商工会議所ではこう考えている、高岡市ではこういう予定をしていると、地域住民の人たちはこういう考えであると、専門家を入れてもいいが、そういったものをしっかり取りまとめる組織体を検討いただきたい。
- ・万葉線については、延伸の問題等もそれぞれの地域で要望が出てきているが、これをトータルで考えたときに、タクシーの役割はこうだ、バスの役割はこう

だ、電車の場合はどうだとか、役割そのものを連携してやっていくことであり、しっかりとまとめてくれる組織がどうしても必要だと考えている。

2014 新高岡協議委員会

- ・初年度の新幹線の停車本数は、割と高いパーセンテージが維持されると思うが、一番危惧するのは、その次のダイヤ改正で、利便性の悪さとか、そういった面で停車率がすごく減ってしまうと、本当はこうだったのに、どうしてよその駅まで行かなくてはいけないのかという市民の不満が爆発することである。
- ・一例として、山町筋とか金屋町とかそういった面まで万葉線を延伸することによって観光客が増加し、高岡がより便利に感じられる。また、たくさんの乗降客数が期待できる部分とすれば、その先にある私立高校とか高岡商業高校とかは、公共交通に関してきちんと費用対効果も考えられるゾーンである。
- ・もちろん一番ほしいのは、新駅、新高岡駅に降りて、まっすぐ現高岡駅に来る利便性であり、それにより正のスパイラルで、高岡市の交流人口が維持され、効果が期待されると思う。

2014 新高岡協議委員会

- ・高岡の若手の経済人は、市の中心部がこのままだめになってしまうのではないかと非常に危機感を持っている。
- ・高岡という街をもう一回よみがえらせるというか、来て楽しい、歩いていて面白いという街にしていくために、何か公共交通をそこに入れることによって、それを起爆剤にしながらまちづくりと連携する形で2年間いろいろ議論している。

(3) 高岡市における新駅周辺まちづくり計画及び関係者との連携について

高岡市

- ・高岡市は、北陸新幹線の開業により、新幹線、並行在来線となる北陸本線、そして北陸自動車道による東西の軸というものができあがり、東海北陸自動車道、能越自動車道といった中京圏から能登方面への南北の軸の2つの軸が交差するという地理的な位置にあり、国、県のご支援やご協力をいただきながら、広域ネットワークの構築を進めている。
- ・北陸新幹線の開業を、新たな都市拠点の発展するチャンスとして、県西部地域だけではなくて飛越能の玄関口として、高岡市民だけでなく飛越能地域の方にとっても便利なものをつくっていきたいと考えており、平成19年4月に新高岡駅のまちづくり計画を策定し、現在、それに向かって事業を展開している。

- ・広域的な道路アクセスとして、国、県の支援をいただきながら能越自動車道の高岡インター、北陸自動車道の（仮称）高岡砺波スマートインターチェンジに接続する道路については新高岡駅の開業時までには開通する予定になっているが、それぞれ新高岡駅に約10分で行けるようにし、交通アクセスとしては、非常に大きな効果が出てくると考えている。
- ・また、新高岡駅の西側の城端線にも駅ができると、現駅へのアクセス性も非常に高く、3分くらいでもう行ってしまおうので、新高岡駅を利用された方が高岡駅の旧の市街地のほうへ行くには、非常に便利なアイテムになる。
- ・また、新高岡駅の近隣には、現高岡駅との間に、国宝瑞龍寺があるが、ここへたくさんの人に行っていただくよう現在沿線市民の意見を聞きながら地域に合った道路を整備している。
- ・このように多様なアクセスを準備して、たくさんの方に利用していただきたいと考えている。
- ・新高岡駅の駅前広場は北口と南口と2つに分かれているが、北口については一般車、南口については公共交通の結節地ということで、バスについては14台、タクシーについては25台の乗降あるいは待機場を用意したいと考えている。また、公園、高架下施設というものも整備する。
- ・最後に、新高岡駅が金沢駅と富山駅に挟まれた駅になるので、何か売りがなくてはいけない。そこで駐車場を少し戦略的に増やして800台ということで今整備をしていこうとしている。これについても、わかりやすく、利用しやすくという観点で整備をしていきたいと思っている。

高岡市

- ・最近、皆さんから、新駅と現駅をどういうふうにアクセスするのかとよく言われるが、高岡市では総合戦略を今年度中に策定するというので、今いろいろな作業を行っている。
- ・新駅と現駅間に一般の方がどういうアクセスをするかが第一のポイントであり、バス事業者と一生懸命に検討している。バス事業者は、いろんな方面に行けるバスを取り入れながら、この新駅、現駅間のアクセス強化を検討している。
- ・それから、戦略会議も秋から開催することとしているが、タクシーの利便性の高い利用方法を検討、協議してまいりたいと考えている。
- ・また、これからはダイヤモンド型のバスとかタクシーとかを取り入れていかなければならないと思うし、小勢地区で自主運行している地域バスというものも今後市全体で取り入れていきたいと思っている。
- ・万葉線については、延伸の話は中長期的な課題であるが、来年は新しい駅舎の中に入るの、そういうものをいろいろ考えながら今戦略を策定している。

(4) その他

高岡・西高岡間新駅設置推進協議会

- ・西高岡駅には駐車場があるが、このスペースは十数台しかなく、利用する人も限られてしまい、非常に不便を感じている。
- ・やはり、駐輪場と駐車場だけは広めに確保していただきたい。

経営企画委員長

- ・我々は執行機関ではないので、今日皆さんからいただいたご意見等に対する答弁等は差し控えるが、きちんと県当局に伝えさせていただく。
- ・また、来週から9月議会も始まるが、この後、皆様方の要望を踏まえながら、地域住民の公共交通のあり方についてしっかりと議論させていただき、地域の足を守るといった取り組みに、しっかりと取り組んでいきたいと思っている。

